

令和9年度愛知県公立高等学校入学者選抜（全日制過程）

一般選抜における各高等学校の面接実施の有無及び校内順位の決定方式について

7月7日、愛知県教育委員会高等学校教育課のホームページにおいて、令和9年度愛知県公立高等学校一般選抜における面接実施の有無及び校内順位決定方式が発表されました。

近隣校では、**豊田南高校の校内順位決定方式がⅢ型からⅤ型へ変更**され、学力検査の結果がこれまで以上に重視されることになります。面接の有無については、令和8年度入試から特に変更はありません。

先日、ある学級で校内順位決定方式について質問したところ、Ⅰ型～Ⅴ型の違いについてまだ知らない生徒も見られました。そこで、今回の進路通信では、各高校が採用している校内順位決定方式について紹介します。【愛知県高等学校教育課 HP より】

一般選抜における校内順位の決定に際しては、各高等学校があらかじめ選択した次のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴのいずれかの方式によって得られた数値を基礎資料とした上で、総合的に行う。

- Ⅰ (評定得点) + (学力検査合計得点)
- Ⅱ { (評定得点) × 1.5 } + (学力検査合計得点)
- Ⅲ (評定得点) + { (学力検査合計得点) × 1.5 }
- Ⅳ { (評定得点) × 2 } + (学力検査合計得点)
- Ⅴ (評定得点) + { (学力検査合計得点) × 2 }

※ 評定得点は、調査書情報の「学習の記録」の評定合計を2倍した数値とし、最高を90点（5点×9教科×2）とする。

※ 学力検査合計得点は、国語、数学、社会、理科及び外国語（英語）の各教科の得点の合計とし、最高を110点（22点×5教科）とする。



一般的に、岡崎高校、刈谷高校、豊田西高校などの大学進学希望者の多い普通科高校では、学力検査を重視するⅢ型やⅤ型を採用している学校が多く見られます。一方で、豊田工科高校、岡崎工科高校、岡崎商業高校など、専門的な知識や技能の習得を重視する専門学科を設置する高校では、調査書の評定をより重視するⅡ型やⅣ型を採用している学校が多い傾向があります。

受験を考えている人は、志望校の選抜方法について早めに確認しておきましょう。

第3回進路希望調査について

7月13日付で、第3回進路希望調査を各学級担任の先生に配付しました。3年生の生徒のみなさんには、担任の先生から直接、または夏の懇談会の際に配付されたかと思います。提出期限は9月1日（火）としておりますが、提出期限を確実に守れるよう、できる限り、**夏休み中の出校日【8月19日（水）】に提出**してください。なお、出校日に提出できない場合は、夏休み中の別日に担任の先生へ提出するようにしましょう。

